

評価者コメント(意識啓発型)

<p>評価指標でみられた効果 ※個々の評価指標でみられた効果について総合的にご記入ください。</p>	<p>介入前後での比較について</p>	<p>介入群では、介入の前後で、HDLコレステロール値と空腹時血糖値が、有意に改善した。また、「油ものの摂取状況」が改善した。</p>
	<p>介入群と対照群の比較について</p>	<p>対照群では、介入群に対する介入の前後の時期で、HDLコレステロール値と空腹時血糖値が、有意に改善した。また、「油ものの摂取状況」と、「1回30分以上の運動を週2回以上」が改善した。介入群でも対照群でも、HDLコレステロール値と空腹時血糖値が改善したので、この改善は、意識啓発型の介入による固有の効果ではなく、対象者全体の意識向上による効果や、平均への回帰の影響などに起因するものであると考えられる。</p>
<p>評価指標以外でみられた効果 ※評価指標上の効果としては現れていないが、それ以外にプログラムの効果としてみられたものをお書きください。</p>	<p>参加者の健康増進に対する関心が高まった。</p>	
<p>問題点や課題 ※プログラムの実施にあたって問題点として把握されたこと、これからの課題として捉えられたことをお書きください。</p>	<p>血液生化学検査などの身体状況に関する評価指標では、意識啓発型の介入による固有の効果を検出できなかった。次年度は、これらの効果指標が改善するように、介入内容の改善が必要である。</p>	

評価指標調書 学習援助型(介入群)

			測定時期(○週目、○ヶ月目とご記入ください)												評価者によるコメント	
			1日目				5ヶ月目									
			／平均 割合値	標準 偏差	n 数	p 値	／平均 割合値	標準 偏差	n 数	p 値	／平均 割合値	標準 偏差	n 数	p 値		
身体 状況	血圧	収縮期血圧	138.3	21.8	84		138.6	20.7	80	0.939					事業開始時と比較して事業終了時で効果があったと思われる項目 ※p値が0.05未満のもの、もしくは割合の差が10ポイント以上のものについて記入して下さい。	
		拡張期血圧	80.0	11.7	84		80.8	11.3	80	0.717						
	血液 化学 検査	脂質代謝	総コレステロール	192.5	37.1	84		199.1	34.9	81	0.243					
			HDLコレステロール	50.3	11.9	84		63.0	16.0	81	<.0001					有意に改善した
		LDLコレステロール														
		中性脂肪	129.9	99.4	84		134.1	83.7	81	0.768						
		糖代謝	空腹時血糖	101.6	23.1	84		92.6	14.1	81	0.003					有意に改善した
	ヘモグロビンA1c	5.3	0.9	84		5.2	0.5	81	0.353							
	形態計測	BMI	25.1	3.1	84		24.6	3.1	81	0.278						
		体重	60.0	8.7	84		59.1	8.8	81	0.522						
体脂肪率																
生活 習慣 (行動)	食生活	満腹への配慮	52.4%		84		50.6%		79	0.823						
		食事の規則正しさ	73.8%		84		77.2%		79	0.614						
		朝食の摂取状況														
		間食摂取の有無	28.6%		84		24.1%		79	0.513						
		食品バランスへの配慮	77.4%		84		86.1%		79	0.152						
		甘いものの摂取状況	75.0%		84		81.0%		79	0.355						
		油ものの摂取状況	21.4%		84		25.3%		79	0.557						
		塩分摂取状況	36.9%		84		41.8%		79	0.525						
	栄養摂取状況	総カロリー														
	飲酒状況	飲酒の頻度	25.6%		39		25.7%		35							
		飲酒量	38.5%		84		45.7%		81							
	喫煙状況	喫煙の有無	91.6%		83		93.6%		78	0.625						
		喫煙本数														
	運動状況	禁煙への関心	71.4%		7		50.0%		4	0.477						
		意識的な運動の有無	73.8%		84		84.8%		79	0.084					改善した	
		1日の歩数														
	睡眠休養状況 等	1回30分以上の運動を週2回以上	44.1%		84		61.5%		78	0.026					有意に改善した	
		睡眠状況	63.1%		84		72.3%		79	0.217						
	受療行動等 意識等	1日の睡眠時間														
		受療行動	52.4%		84		54.3%		81							
	健康に対する自己認識															

評価指標調書 学習援助型(対照群)

			測定時期(○週目、○ヶ月目とご記入ください)												
			／平均 割合 合値	標準 差 偏	n 数	p 値	／平均 割合 合値	標準 差 偏	n 数	p 値	／平均 割合 合値	標準 差 偏	n 数	p 値	
身体 状況	血圧	収縮期血圧	139.0	19.1	96		140.9	15.8	89	0.482					
		拡張期血圧	77.1	11.6	96		80.2	10.3	89	0.057					
	血液 化学 検査	脂質代謝	総コレステロール	201.8	31.7	96		205.4	29.9	89	0.429				
			HDLコレステロール	51.1	9.8	96		60.6	12.0	89	<.0001				
		糖代謝	LDLコレステロール												
			中性脂肪	114.0	59.1	96		128.5	64.6	89	0.112				
	形態計測	空腹時血糖	100.4	19.4	96		94.3	16.0	89	0.022					
		ヘモグロビンA1c	5.2	0.5	96		5.2	0.6	89	0.698					
		BMI	25.1	3.9	96		25.0	3.9	89	0.801					
	生活 習慣 (行動)	食生活	体重	59.5	11.6	96		59.3	11.7	89	0.964				
体脂肪率															
満腹への配慮			57.9%		95		55.1%		89	0.698					
生活 習慣 (行動)	食生活	食事の規則正しさ	72.9%		96		77.5%		89	0.468					
		朝食の摂取状況													
		間食摂取の有無	19.8%		96		18.0%		89	0.753					
		食品バランスへの配慮	81.1%		95		78.7%		89	0.685					
		甘いものの摂取状況	65.6%		96		70.8%		89	0.452					
		油ものの摂取状況	17.7%		96		34.8%		89	0.008					
		塩分摂取状況	29.2%		96		31.5%		89	0.734					
		栄養摂取状況	総カロリー												
	飲酒状況	飲酒の頻度	36.4%		33		40.0%		30						
		飲酒量	45.5%		96		36.7%		91						
	喫煙状況	喫煙の有無	93.8%		96		95.5%		89	0.598					
		喫煙本数													
	運動状況	禁煙への関心	66.7%		6		75.0%		4	0.778					
意識的な運動の有無		75.0%		96		70.8%		89	0.519						
1日の歩数															
睡眠休養状況 等	1回30分以上の運動を週2回以上	52.1%		96		49.4%		89	0.719						
	睡眠状況	69.8%		96		69.3%		88	0.944						
受療行動等 意識等	1日の睡眠時間														
	受療行動	56.3%		96		60.4%		91							
		健康に対する自己認識													

評価者コメント(学習援助型)

<p>評価指標でみられた効果 ※個々の評価指標でみられた効果について総合的にご記入ください。</p>	<p>介入前後での比較について</p>	<p>介入群では、介入の前後で、HDLコレステロール値と空腹時血糖値が、有意に改善した。また、「意識的な運動の有無」と、「1回30分以上の運動を週2回以上」の状況が改善した。</p>
	<p>介入群と対照群の比較について</p>	<p>対照群では、介入群に対する介入の前後の時期で、HDLコレステロール値と空腹時血糖値が、有意に改善した。また、「油ものの摂取状況」が改善した。その一方、介入群で改善がみられた、「意識的な運動の有無」と「1回30分以上の運動を週2回以上」については、改善がみられなかった。介入群でも対照群でも、HDLコレステロール値と空腹時血糖値が改善したので、この改善は、学習援助型の介入による固有の効果ではなく、対象者全体の意識向上による効果や、平均への回帰などに起因するものであると考えられる。一方、運動状況については、学習援助型の介入による固有の効果である可能性が示唆される。</p>
<p>評価指標以外でみられた効果 ※評価指標上の効果としては現れていないが、それ以外にプログラムの効果としてみられたものをお書きください。</p>	<p>参加者の健康増進に対する関心が高まり、自主的な活動グループを結成する動きが見られた。</p>	
<p>問題点や課題 ※プログラムの実施にあたって問題点として把握されたこと、これからの課題として捉えられたことをお書きください。</p>	<p>血液生化学検査などの身体状況に関する評価指標では、学習援助型の介入による固有の効果を検出できなかった。次年度は、これらの効果指標が改善するように、介入内容の改善が必要である。</p>	

評価者コメント(事業全体)

<p style="text-align: center;">事業実施でみられた効果</p>	<p>本プログラムでは、「学習援助型」の介入群と対照群、および、「意識啓発型」の介入群と対照群という、四群での検討を行った。その結果、四群すべてで、HDLコレステロール値と空腹時血糖値の有意な改善が見られた。したがってこの改善は、「学習援助型」や「意識啓発型」の介入による固有の効果ではなく、対象者全体の意識向上による効果や、平均への回帰などに起因するものであると考えられる。一方、運動状況については、「学習援助型」の介入群では改善し、対照群では改善しなかったことから、この介入による固有の効果である可能性が示唆される。プログラム初年度の介入と評価指標の測定を、大きな問題なく終了したことで、プログラム提供サイドの実施態勢が整備された。また、住民の本プログラムに対する認知と理解が向上した。</p>
<p style="text-align: center;">問題点や課題</p>	<p>血液生化学検査などの身体状況に関する評価指標では、介入による固有の効果を検出できなかった。次年度は、これらの効果指標が改善するように、介入内容の改善が必要である。</p>